

口腔回復系診療科

咬合回復科

TEL 022-717-8364(外来)



科長
江草 宏 教授



診療科WEB



外来担当医表



地域の先生方へ

外来診療は補綴歯科専門医4名(うち指導医3名)を含む歯科医師19名による担当医制です。新患外来は月曜・木曜になります。初診時には、新患係が診査を行い、担当医を決定します。また、応急処置を実施します。再来診からは、担当医による予約診療となります。

診療内容

咬合回復科は、義歯などの補綴歯科治療により「咬み合わせ」を回復し、口の働きを改善することを専門とします。

失われてしまった歯・顎などの一部を装置により再建することによって、歯列・顔貌などの形の回復とともに、「食べる」「しゃべる」「味わう」という人間にとって大切な口の機能の回復・保全を図り、患者さんのQOLの向上・豊かな生活に貢献することを目的とします。

当科では、一般の歯科診療所等での対応・管理が難しい患者さんに対し、地域診療所の歯科医師の先生方、他科の医師・歯科医師の先生方との連携を取りながら治療にあたっています。また専門外来においては、各専門医・指導医による指導体制を整備し、より高い専門性に基づいた補綴歯科治療を提供することを心がけております。各疾患や治療法に関する国内外の診療ガイドラインや最新動向を調査し、エビデンスに基づいた補綴治療を実施しています。

新治療技術、新素材を積極的に導入し、患者さんの要望により対応しうる最新治療の提供、新たな治療法の開発にも力を注いでおります。近年の歯科医療におけるデジタル化に対応し、口腔内スキャナーを使用した「歯の型取り」を積極的に実施しております。また、顎運動計測装置や咀嚼能力検査装置を使用し、治療効果の見える化を実践しております。

得意分野

- 多数歯欠損、咬合崩壊、すれ違い咬合などの補綴難症例に対する補綴治療(義歯、ブリッジ、インプラント)
- 咬み合わせの不良などによる顎や口の痛み
- 閉塞型睡眠時無呼吸症(OSAS)に対する各種口腔内装置による治療
- ノンメタルクラスプデンチャーを用いた治療
- 重度の歯科恐怖症など歯科治療が困難な患者さんに対する静脈内鎮静法や全身麻酔下での歯科治療
- 各種検査(咀嚼能力検査、咬合接触検査、顎運動検査など)による口腔機能評価
- スポーツ外傷に対するマウスガード



主な対象疾患

- 歯の欠損
- 咬み合わせの異常
- 閉塞型睡眠時無呼吸症候群(OSAS)や
- いびき症
- 摂食嚥下障害



様々なタイプの義歯を用いた治療例